

小説家である京極夏彦の創作活動の原点ともいえるビジュアルアートの世界は、母校・倶知安高校在学中にすでに早熟な才能として顕れていました。美術部での活動をめぐるさまざまな逸話は、今なお倶知安高校OBによって語られています。その類まれな想像力、表現力で多くの人を魅了してやまない世界観を、京極自身による美術作品で紹介します。

京極夏彦は、小川原脩が仲間とともに創設した「緑会」(のちの倶知安高校美術部)の後輩に当たります。小川原と彼を画家の道へ導いた白井幸三郎先生、そして京極と美術部顧問・福田好孝教諭の交流。倶高から美術を志す若者の姿が時を越えて重なります。

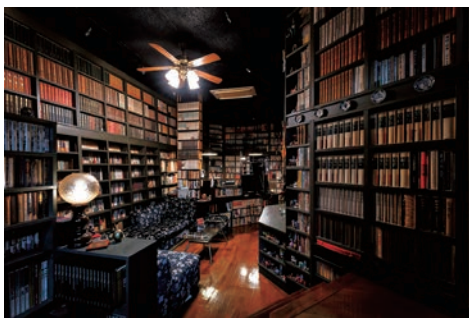
現在、倶知安町で画家として活動する福田好孝の特別出品作「他所者たち」は、京極がその独自のスタイルに共感を抱き、自著「妖怪の宴 妖怪の匣」の装丁画にと依頼したものです。



特別出品 福田好孝《他所者たち》1977年「妖怪の宴 妖怪の匣」(2015年、KADOKAWA)表紙装画



特別装幀本



書齋

Photo: SAKANO Koichi



Photo: MORI Kiyoshi

京極 夏彦 Kyogoku Natsuhiko

1963(昭和38)年 北海道小樽市に生まれる。
1981(昭和56)年 北海道倶知安高等学校を卒業。
1994(平成6)年 『姑獲鳥の夏』(講談社)でデビュー。
2000(平成12)年 第8回桑沢賞受賞。
2016(平成28)年 遠野文化賞受賞。
2019(令和元)年 埼玉文化賞受賞。

《代表作》

「魍魎の匣」(1996年、第49回日本推理作家協会賞長編部門賞)
「喰う伊右衛門」(1997年、第25回泉鏡花文学賞受賞)
「覗き小平次」(2003年、第16回山本周五郎賞受賞)
「後巷説百物語」(2004年、第130回直木賞受賞)
「西巷説百物語」(2011年、第24回柴田錬三郎賞受賞)
「遠巷説百物語」(2022年、第56回吉川英治文学賞)
独自の世界観を持つ多彩な作品は、映画や舞台などにも提供され人々に親しまれている。



京極夏彦《魍魎》



京極夏彦《狂骨》



京極夏彦《鉄鼠》

京極夏彦さんトークイベント

11月12日(土) 14:00

会場／小川原脩記念美術館ロビー

定員／80名

入場無料／要事前申込

申込方法／インターネット申込フォーム

<https://www.harp.lg.jp/rZN5DdDV>

QRコード



締め切り／10月21日(金)

※応募多数の場合は抽選となります。
当選者のみ10月28日(金)までにメールで通知します。
※未就学児のお申し込みはご遠慮ください。
※詳細は別チラシ・ホームページをご覧ください。

●同時開催.....

没後20年 小川原脩展 私の中原風景 Part2

2022年8月20日(土)～11月27日(日) 第1展示室

●会期中のイベント.....

友の会 アフタヌーンジャズコンサート

2022年10月9日(日) 14:00 主催：小川原脩記念美術館友の会



小川原脩記念美術館
Shu Ogawara Museum of Art

〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1(0136-21-4141)
<http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/>